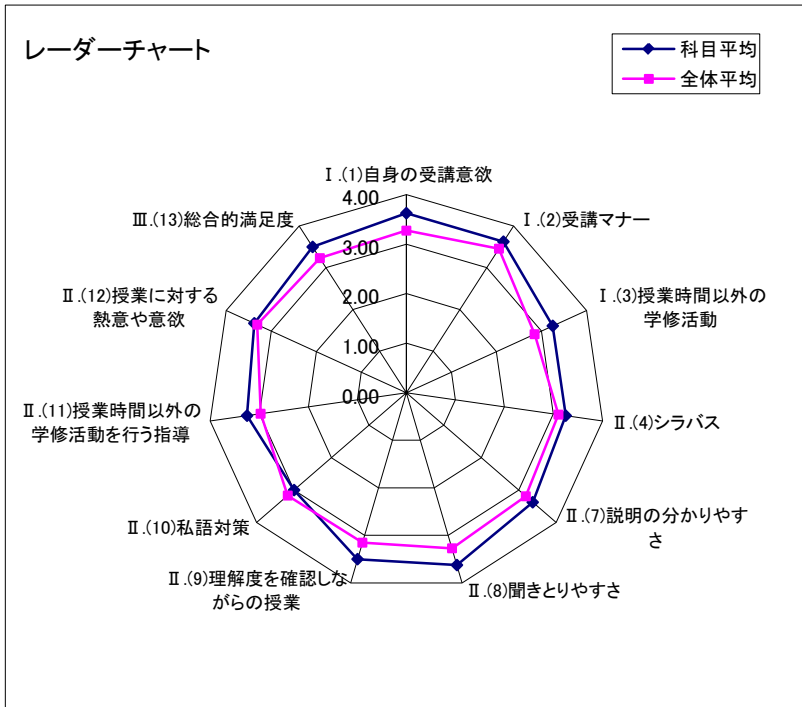
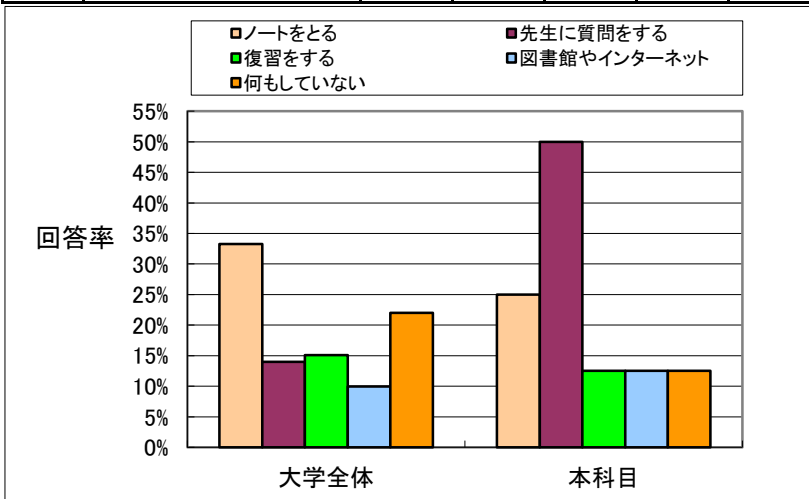


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.25	0.50	0.13	0.13	0.13



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.63	3.27
	I.(2)	3.63	3.46
	I.(3)	3.25	2.85
講義内容・方法	II.(4)	3.25	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.38	3.19
	II.(8)	3.63	3.27
	II.(9)	3.50	3.15
	II.(10)	3.00	3.17
	II.(11)	3.25	2.97
	II.(12)	3.38	3.31
	総合評価	III.(13)	3.50

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.50	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.34	3.17
総合評価 III.(13)	3.50	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	1165
科目名	GUIプログラミング
教員名	

①授業計画の達成度について  
 授業の目的の認識については、初回の授業においてシラバスを配布して説明し、さらに毎回の授業の目的を簡潔に説明し、計画どおりに進めることができたと思う(設問4)。  
 受講生のプログラミング力の個人差を吸収するために、課題では各自のできる範囲でオリジナリティを加えたプログラムを作らせるようにしたために、難易度については設問5と6において中程度(「ややそう思う」+「あまりそう思わない」)はどちらも75%であり、目標や難易度はほぼ適切だったと判断できる。

②授業の進め方について  
 プログラミングの授業であるので説明はできるだけ簡潔におこない、実際にプログラムを作る時間を増やすように心がけた。その間、机間巡視を多くして個々の学生の進み具合を見ながら個別の質問に答えていたために、説明の明瞭さ(設問7・8)、理解確認(設問9)では比較的高い評価が得られた。私語についても全くないわけではなかったが、授業環境は守られていたといえよう(設問10)。そのために、この授業に対する満足度も比較的高い評価(設問13)が得られたと考えられる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 当科目は旧カリキュラムの科目であり、今年度で閉講となる可能性が高いが、これまでの主な改善点は今後の他の授業でもできるだけ取り入れるようにしたい。主な改善点は以下のとおりである。(1)演習時間を作る(増やす)ために、教科書の他に、毎回の要点と演習課題を書いたプリントを配布して説明を簡潔に行い、演習は教科書を見ながらじっくり行ってもらおう。(2)演習問題をさせる間、机間巡視をして学生の理解度確認や個別の質疑応答を行う。(3)特に重要な内容については随時小テストを入れ、詳細な説明を加える。